

It's possible

都城泉ヶ丘高校男子ハンドボール情報紙
平成21年 1月20日
発行責任者 戸高慶三

選抜大会悔しい3位！

県高校ハンドボール選抜大会が1月17日～18日の2日間の日程で綾町のてるはドームで行われました。泉ヶ丘は予選トーナメントにおいて高鍋高校を破り決勝リーグに進出。決勝リーグでは1勝2敗の成績で3位となり九州大会出場はなりません。特に都城工業戦においては自分たちのプレーができずに自滅という試合展開となり選手及び監督は非常に悔しい思いをしました。しかし、「勝って学ぶことより負けて学ぶことの方が多い」はず。今大会の結果を真摯に受けとめて今後の練習に活かし、そして、4ヶ月後の高校総体において今回の無念を晴らして欲しいものです。尚、今大会には多くの保護者の皆様から応援及び差し入れを頂きました。本当にありがとうございました。

<試合結果>

★予選トーナメント★

泉ヶ丘 22 (10 - 4) 13 高鍋
12 - 9

前半途中まで3-3の同点。20分過ぎから外薗のPT、山元のサイドなどで突き放す。後半は泉ヶ丘ペース、最後は控えの1年生が登場。徳峰のロングが決まった。

★決勝リーグ★

泉ヶ丘 18 (8 - 8) 21 都城工業
10 - 13

前半一時は泉ヶ丘が3点リードする。20分過ぎから泉ヶ丘にミスが出始め、逆速攻などで逆転を許す。その後同点に追いついて前半終了。後半最初はGK内村の活躍で失点を止めるものの、泉ヶ丘は都城工業のDFを攻めきれずミスを連発。逆速攻などで5連続失点。変則DFで流れを変えようとしたが追いつくことはできなかった。泉ヶ丘はサイドシュートが不発だった。

泉ヶ丘 11 (7 - 21) 36 小林工業秀峰
4 - 15

優勝候補の小林との対戦。泉ヶ丘はスピードあふれる小林の攻守に圧倒され完敗。しかし、山元のサイドシュート、GK内村のキーピングが光った。

泉ヶ丘 25 (7 - 7) 17 宮崎南
18 - 10

前半は相手の大型GKに苦戦、同点で終わる。後半は泉ヶ丘のDFが良くなり、速攻で着実に加点。甲斐、山元の活躍が光った。

- ★結果★
- 優勝 小林工業秀峰 (3勝)
 - 第2位 都城工業 (2勝1敗)
 - 第3位 都城泉ヶ丘 (1勝2敗)
 - 第4位 宮崎南 (3敗)